

## みなかみ町のリバー・ラフティングについて (1)

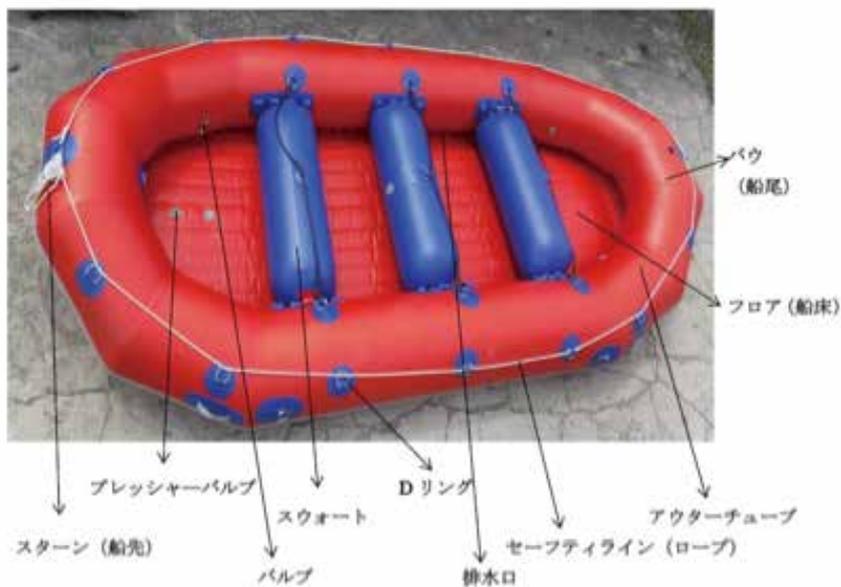
### はじめに

リバー・ラフティングとは、8人乗りの特殊なゴムボートに乗り込み、みんなで力を合わせて漕いで急流を下っていく人気のアウトドア アクティビティです。ゆるやかなところではボートを流れにまかせ、川のせせらぎや鳥のさえずりなど、周囲の自然を満喫できます。

### 1. ラフティング用ボートの構造

まず、ボートの素材としてハイパロンまたはPVCと呼ばれる特殊な生地できています。少々岩にぶつかっても破れることはなく、よほどナイフくらいに鋭い岩でなければ、破けることはありません。しかも、その構造は、8人乗り用のボートでは、合計8箇所の気室からなり、万が一、一箇所が破けたとしても、残り7箇所の気室が残っているので、沈むことはありません。

### 使用するボートと各部位の名称



## みなかみ町のリバー・ラフティングについて (2)

### 2. ラフティングツアーの装備と内容

ラフティングのボートはもちろんのこと、身につけるヘルメット・ライフジャケット・ウェットスーツ・パドルは急流対応のウォータースポーツに適した装備となります。また定期的メンテナンスと入替えを行っております。

レンタル装備品一式 ※各種、体形にあわせたサイズを揃えています



ウェットスーツ



ライフジャケット



ヘルメット



パドル

実際にボートに乗る前には、全員ウェットスーツ、ライフジャケット、ヘルメット、靴を装着します。そのため、川に落ちたとしても底に沈むことはありません。

また、乗船前にインストラクターによる安全講習があります。落ちた時の対処の仕方や安全な急流の流れ方、パドルの漕ぎ方を説明します。そして、1つのボートにつき1人のインストラクターが付き、号令をかけて川を下っていきます。

波やドロップがあり、しっかりとロープにつかまって、豪快に水しぶきを浴びながら、みんなの力を合わせて下っていくことは最高に楽しく、忘れられない思い出となることでしょう。みんなの力を合わせて下るところから協調性を学ぶことができます。

### リバー・ラフティング 活動のイメージ画像



## みなかみ町のリバー・ラフティングについて (3)

### 3. 体験実施における留意点

ラフティングツアーで川下りを体験することは、普段体験することのない未知の世界であり、非常に楽しいものです。しかし、水上（川で）で行われるラフティングツアーを安全に行うための配慮は不可欠です。

#### ① 事前確認

一般社団法人アウトドア連合会のラフティング組合で定められている川の水量を守り、その時の水量にあわせて、また天候も考慮しながら、安全なコースを選択します。

#### ② 川の水量と気象条件

体験が実施できる気象条件を完全に把握し、気象データをリアルタイムに受け取りながら先の状況を予測します。現段階で安全水量でも上流の豪雨による増水が予測される場合や公的機関からの中止要請があった場合はツアーを中止します。

川の水量の確認できるサイト ⇒ <http://www.uryou-gunma.jp/html/index.htm>

#### ③ インストラクター

充分な実務経験をもち、ラフティングに関する広範な知識と優れた技術が必要です。

一般社団法人アウトドア連合会に認定されたガイドがボート 1 艇につき 1 名乗艇します。

- ・ ツアー運行責任者のトリップリーダーを 1 クラスあたりに最低 1 名配置
- ・ 1 艇の運行であってもトリップリーダーの他、1 名のリバーガイドの合計 2 名以上体制で運行
- ・ トリップリーダーは、リバーガイドのうち 20 歳以上かつ 2 シーズン以上で合計 60 回以上のリバーガイド経験を有する者を指し、リバーガイドは 18 歳以上かつ応急救命手当の資格保持、みなかみエリアの利根川において 40 回以上のトレーニング経験がある者

みなかみ町のラフティングインストラクターは、スイフトウォーターレスキュー 3 や NZRA（ニュージーランドのラフティングの資格）や RAJ（ラフティング協会）の資格を取っている者も多くいます。定期的にアウトドア連合会でのアウトドアに関する講習を受けたり、消防署との合同トレーニングを受けたり、常に最新の技術や情報を得て安全に最善の注意を払いツアーの運行を行っております。

また心肺蘇生法を含む救命講習等の資格を有しております。

## リバー・ラフティング体験 実施までの流れ

### 事前準備

#### 実施 1 ヶ月前まで

- 参加同意書（参加確認書・保険申込書）の提出
- 班名簿・サイズ表・配慮リストの提出（弊社指定エクセルデータ）

・6～7名で班編成（1ボード8名定員、ガイド1名乗車）  
 ・参加する先生も生徒と同様です。配慮が必要な生徒のサポート同乗をお願いする場合があります  
 → 既往症、持病、ケガ等の配慮事項をチェック後、詳細のヒヤリングや保護者・医師への確認等の配慮事項対応リストをお送りします

#### 実施 2 週間前まで

- 配慮事項対応リストの提出

#### 実施 1 週間前まで ラフティング会社決定

- 先生・添乗員・看護師・カメラマンの動き（下記 A～D）を確定し、各人数と乗車バス号車をお知らせください
- A. ラフティング参加                      B. ラフティング見学（※見学者用車両定員7名）  
 C. ラフティング会社または本部待機      D. 不参加者の体験場所へ同行

### 実施当日

#### 【ラフティング参加者】

- ・出発地または宿泊先を出発する前にお手洗いを済ませ、水着に着替えることをおすすめします
- ・ラフティングに必要な荷物だけを入れたバッグを、観光バスの座席に持ち込んでください
- ・貴重品は原則、学校で管理ください

#### 【ラフティング不参加者】

工芸体験をする場合  
 観光バスでラフティング会社を經由して体験場所へ行き、ラフティング終了時間に合わせてラフティング会社へ戻ります

### 持ち物

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 水着（水着の上にウェットスーツを着用します） | <input type="checkbox"/> 濡れても良いシューズ（※1）        |
| <input type="checkbox"/> 肌の弱い人は化繊のインナー上下        | <input type="checkbox"/> メガネの人はメガネバンド（※2）、     |
| <input type="checkbox"/> フェイスタオルまたはスポーツタオル      | コンタクトの人はスイミング用ゴーグル（※3）                         |
| <input type="checkbox"/> 濡れた水着やシューズ用のビニール袋      | <input type="checkbox"/> 名前を記入したマスク保管用のジップロック袋 |
| <input type="checkbox"/> 上記の必要なものを持ち運ぶバッグ       | （川への移動中に車内で着用する場合）                             |

※1. スニーカー、スポーツサンダル、マリンシューズなど足にフィットするものに限り  
 （濡れた岩の上は滑りやすく、水中でも脱げてしまうため、ビーチサンダル・クロックスは不可）  
 ※2. メガネバンドが無い場合は、簡易のものを貸出  
 ※3. コンタクトの方は、使い捨てを推奨（念のため予備を持参ください）

### 写真撮影

- ・カメラマン有無と移動手段（マイカー有無）、撮影内容などを事前にお知らせください（クラス写真・ポート単位の写真、スタート・ゴール写真・通過ポイントの写真など ※通過ポイントの場合マイカー必須）
- ・コースは水位により当日決定します

### 雨天時対応

- ・川の増水により危険水位に達した場合は、当日、ガイドが川から湖への振替判断をします
- ・湖でも実施不可能な荒天が予測される場合はガイドが前日に中止判断をします（中止の場合は工芸体験などに振替手配ください）

## リバー・ラフティング体験 当日の流れ



### 観光バスで出発

- ・出発前に水着に着替え、お手洗いを済ませる
- ・ラフティングに必要な荷物だけを入れたバッグを持ってバス座席へ
- ・利根川上流に点在する複数のラフティング会社へクラス毎に割振ります（実施日直前に決定）



| クラス | ラフティング会社名 | 住所・電話 |
|-----|-----------|-------|
| 1   | A 社       |       |
| 2   | B 社       |       |
| 3   | C 社       |       |

9:00 ラフティング会社に到着後、着替えの説明。体形に合わせたウェットスーツを受け取り更衣室で着替え（水着の上からウェットスーツを着用）その後、ライフジャケットとヘルメットを装着しパドルを配布各ラフティング会社の送迎車に乗り込み、川へ移動

※貴重品は原則、学校で管理をお願いします  
※観光バスは各ラフティング会社にて待機

9:30  
~9:40 スタートポイント到着

各クラス  
30分 安全確認・漕ぎ方練習

各会社単位で安全に関する説明と、漕ぎ方練習（パドルの持ち方、ボートの座り方、パドルの漕ぎ方、落ちた人の助け方など）、装備の装着状況（ウェットスーツ、ライフジャケット、ヘルメット、パドル）を確認

各ボートを担当するガイドが参加者全員に対し、正しく装着できているか確認

ラフティング不参加者  
工芸体験をする場合

ラフティング終了時間  
に合わせて  
ラフティング会社へ  
戻ります

10:00  
~10:20 クラス単位でラフティング スタート

※最初と最後のクラスで約15分差

#### 写真撮影

カメラマンへ撮影ポイントのご説明もできますので希望の方は事前にお知らせください

#### 見学引率者

生徒と同じ送迎車で  
スタート地点へ移動

・スタート見送り



・見学用車両で  
ゴール地点まで移動



・ゴール出迎え  
生徒と同じ送迎車で各  
ラフティング会社へ移動

11:00  
~11:20 ゴール ※最初と最後のクラスで約15分差

各ボートの担当ガイドが怪我等の有無を確認し、  
リバー・ラフティング終了

11:10  
~11:30 各ラフティング会社の送迎車で会社へ移動

11:20  
~11:40 各ラフティング会社到着

到着~20分 着替え。再度、怪我等の確認を行いツアー終了

11:40  
~12:00 観光バスで各ラフティング会社を出発

#### 実施の対応について

- ・コースは当日の水位により異なります
- ・安全を最優先としているため気象状況によりガイドが危険と判断した場合は、ツアーはキャンセルとなります（代替案として湖でのラフティング、中止の場合は工芸体験などに振替手配ください）